

尾形不未夫先生への感謝の言葉

総合管理学部長

久 間 清 俊

尾形先生が熊本県立大学総合管理学部講師として在職されたのは2年間という短い期間でした。しかし私達同僚は、もっと長い期間を共に過ごしていただいたという実感を抱いています。それだけ、尾形先生には、学部発展のために多方面において尽力していただきました。

まず講義では、学部専門科目の「ビジネス・マネジメント（必修・4単位）」、「監査論（選択・2単位）」を担当していただきました。これらの科目はその学問的性格からして、企業で管理者としての実務経験のある方に担当して頂くという学部の方針で、前任者の丹生谷教授が退職された後、2年間かけて探し、当時、肥後銀行の取締役を務めておられた尾形先生に決定したという次第でした。尾形先生は東京大学教養学部教養学科を卒業後、富士銀行ニューヨーク支店勤務、海外経済協力基金（OECD）出向、バイルート駐在員事務所長等、長い海外勤務を経られ、富士銀行方南町支店長、肥後銀行取締役、同監査役、鶴屋百貨店監査役（非常勤）などの経験も豊富で、総合管理学部には最も相応しい方でした。国際的視野から現代企業のマネジメントのあり方、企業の監査の役割について、豊富な経験に基づく、学生にも解りやすい講義をしていただきました。講義の他には、専門演習、基礎演習、教養演習も担当していただきました。尾形先生は一見物静かな雰囲気を漂わせておられますが、議論を始められると実に豊富な知識を、熱く語られます。演習で尾形ゼミナールを希望する学生が多かったのも、金融界における豊富な人脈と併せて、先生のそのような人格に引かれたからでしょう。

また、先生には、国際交流委員、就職対策委員としても大いに活躍していただきました。国際交流委員としては、先生の流暢な英語会話能力に頼んで、熊本県立大学のモンタナ州立大学短期研修団の引率をもお願いしました。その他、

私も、韓国の祥明大学からの短期研修生の歓迎レセプションに同席した折、海外支援プロジェクトにおける交渉の心得を教えて頂いたことを覚えています。就職対策委員としては、地域企業との意見交換会に出席して頂き、先生の幅広い人脈に大いに助けられました。

2年間という短期間に実に多くの功績を学部、大学に残していただきました。私達一同、心からお礼を申し上げます。尾形先生は熊本県立大学を退職後は、「日本企業の法令遵守体制と監査機能」という研究テーマの完成に向かわれることでしょう。すでに昨年、「わが国の政府開発援助（ODA）[『経済社会のダイナミズム』（秋山喜文・立山敏男・松尾隆編著、税務経理協会、平成13年11月）、第9章]の論文を書かれておられます。これに続いて、先生の豊かな経験と知識、鋭い分析力を生かされた研究成果を期待しています。今後とも、共に研究者・教育者として、交流を温め続けていきましょう。ここに、総合管理学部教員一同の先生への感謝と敬意の思いを込めて、この『アドミニストレーション記念号』を捧げます。